

できる喜びを味わい、主体的に学習する児童の育成

～児童が互いに学び合う体育授業を目指して～

勝呂小学校

1 はじめに

本校は今年度より、体育科授業を通じた授業改善に取り組んでいる。「学び合い」を通して、『主体的に学習できる児童を育成すること』『教師の指導力を向上させ、学校全体の授業の質を向上させること』を目指してきた。

2 活動の概要

(1) 授業についての指導・研究授業

全職員が同一歩調で研究が進められるように年間15回ほど校内研究を設定し、具体的な指導法や教材研究、指導案検討などを計画的に実施してきた。指導案検討を通して、4名の指導者からは、教材研究の仕方等についてもご指導いただいた。

- ① 第1回授業研究会 2年1組(全体会) 7月9日(月)
「マットを使った運動遊び」 授業者 菊地 直樹 指導者 野口 潤也先生
・低学年期における、運動遊びの考え方
- ② 太田 正久先生講演「体育授業の充実に向けて」 8月1日(水)
・体育授業の考え方(目指す授業像・体育必携等の活用法・授業の仕組み方)
・授業研究会や校内研修の効果的な進め方
- ③ 第2回授業研究会 4年3組(全体会) 学び合い研修会 9月20日(木)
「跳び箱運動」 授業者 関口 哲 指導者 杉山 二季先生
・児童同士が互いにより関わり合い、学び合える授業のポイント
- ④ 第3回授業研究会 3年1組(ブロック研修) 10月2日(火)
「跳び箱運動」 授業者 大坪 三紗 指導者 太田 正久先生
・効果的な学習過程の工夫(かかえ込み跳びの習得率を上げる工夫)
- ⑤ 第4回授業研究会 2年1組(全体会) 学び合い研修会 11月21日(水)
「跳び箱を使った運動遊び」 授業者 菊地 直樹 指導者 杉山 二季先生
・共通課題の持ち方と児童の学びをつなぐ指導法
- ⑥ 第5回授業研究会 5年2組(ブロック研修) 12月5日(水)
「マット運動」 授業者 成川 友希 指導者 大川 泰弘先生
・できる喜びを実感させる授業のづくりの工夫と考え方
- ⑦ 第6回授業研究会 1年1組(ブロック研修) 12月7日(金)
「跳び箱を使った運動遊び」 授業者 金子 孝晴 指導者 野口 潤也先生
・低学年に有効な授業づくり(意欲の高め方や色々な運動の取り扱い方)
- ⑧ 第7回授業研究会 6年3組(全体会) 1月25日(金)
「跳び箱運動」 授業者 廣本 義成 指導者 太田 正久先生
・技能を着実に習得させるための学習過程の工夫

(2) 学校全体での重点事項

- ① 授業の進め方や教師の役割についての共通理解
- ② 協働的な学習(特に学び合い)の充実に向けた指導法と留意点についての共通理解

3 成果と課題

最大の成果は、全職員が一丸となって教材研究や協議会を通して授業について考えることができたことである。体育授業を通して、「学び合い」を取り入れた授業改善が進んでいる。今後は、子ども同士をつなぐ授業づくりについて深めていきたい。